

# 病虫害発生速報

令和2年8月26日  
第13号

対象作物：畑作物、園芸作物共通

発信元 山形県病害虫防除所  
TEL 023-644-4241(内陸)  
0235-78-3115(庄内)

## 題名：ハスモンヨトウの被害に注意！

### 1 発生概況

- (1) 8月4半旬までのフェロモントラップにおける誘殺数は、県予察圃場（山形市）で多く、地区予察圃場（鶴岡市）でやや多い（図）。
- (2) 8月中旬以降、だいず、かき、秋冬ねぎ等で幼虫による被害や卵塊が確認されている（写真）。
- (3) 向こう1か月の天候は、気温が高く、降水量は少ないと予報されており、今後も本種の活動に好適な条件が続き、幼虫による被害の多発が懸念される。

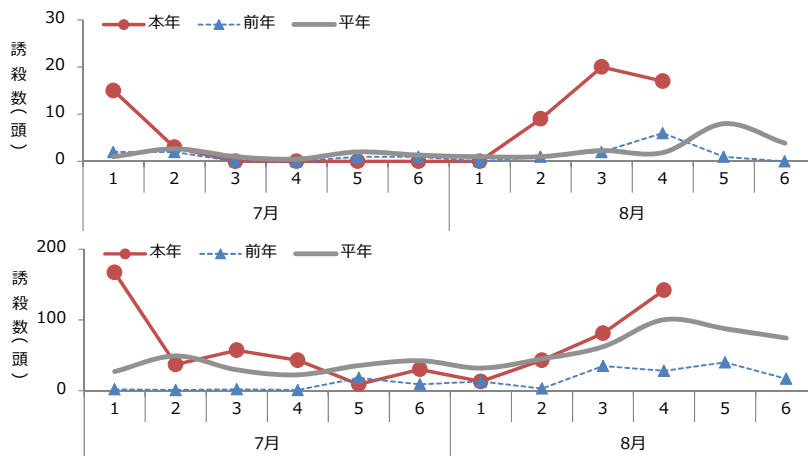


図 フェロモントラップによる誘殺数

(上：県予察圃場 山形市、下：地区予察圃場 鶴岡市)



写真 だいずの食害状況（上）と卵塊からふ化した幼虫の集団（下）

### 2 防除対策

- (1) 本種は広食性で、畑作物、果樹、野菜、花き等、多くの作物を加害するため、圃場をよく見回り、早期発見に努める。
- (2) 卵は卵塊で産み付け、ふ化した幼虫は2～3齢期まで集団ですごし、葉の表皮を残して白色のカスリ状に食害（写真上）する。卵塊やふ化直後の幼虫の集団（写真下）が見られる葉は取り除き、適切に処分する。
- (3) 薬剤防除を行う場合は、幼虫の齢期が進むにつれ防除効果が低下するため、若齢幼虫期に、薬液が葉裏までかかるようていねいに散布する。

農薬の使用にあたっては、農薬使用基準（適用作物、使用量、使用時期、使用回数等）を遵守し、収穫前使用日数には十分注意する。